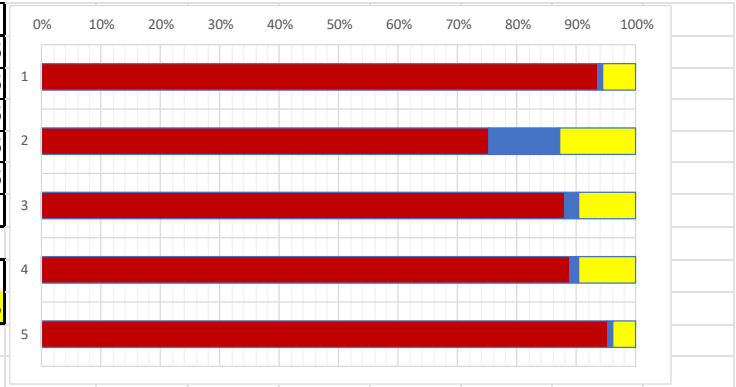


令和6年度 アンケート結果を受けて

＜室町児童館 令和6年10月実施＞

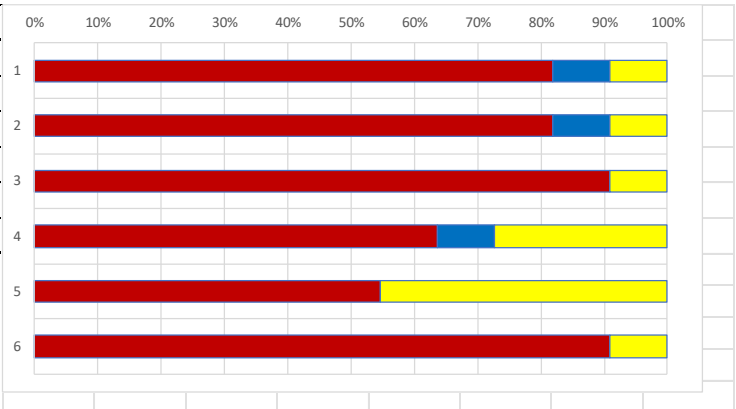
■学童クラブ（児童向け）

R6	学童クラブ（全体）	はい	いいえ	わからない	計
1	楽しい	117	1	7	125
2	ゆっくりできる	94	15	16	125
3	先生と話しやすい	110	3	12	125
4	先生声かけ	111	2	12	125
5	避難	119	1	5	125
6	危ない場所	文書記述			
		125		128	回答率 97.7%



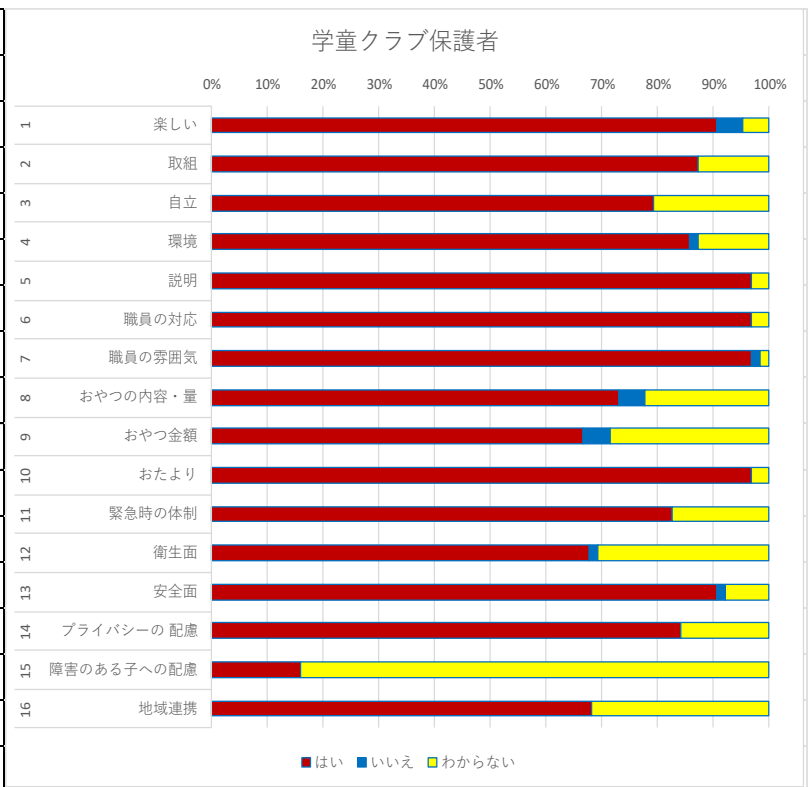
■自由来館児童（主にクラブ活動での参加児童）

R6	自由来館（クラブ活動他）	はい	いいえ	わからない	計
1	楽しい	9	1	1	11
2	ゆっくりできる	9	1	1	11
3	入りやすい	10	0	1	11
4	先生と話しやすい	7	1	3	11
5	先生声かけ	6	0	5	11
6	避難の方法	10	0	1	11



■児童館利用者（学童保護者）

R6	項目	はい	いいえ	わからない	計
1	楽しい	57	3	3	63
2	取組	55	0	8	63
3	自立	50	0	13	63
4	環境	54	1	8	63
5	説明	60	0	2	62
6	職員の対応	61	0	2	63
7	職員の雰囲気	61	1	1	63
8	おやつの内容・量	46	3	14	63
9	おやつ金額	42	3	18	63
10	おたより	61	0	2	63
11	緊急時の体制	52	0	11	63
12	衛生面	42	1	19	62
13	安全面	57	1	5	63
14	プライバシーの配慮	53	0	10	63
15	障害のある子への配慮	10	0	53	63
16	地域連携	43	0	20	63



■児童館利用者（大人）

R6	項目	はい	いいえ	わからない	計
4	活動理念	20	1	9	30
5	環境	30	0	0	30
6	職員の対応	30	0	0	30
7	職員の雰囲気	30	0	0	30
8	避難の仕方	18	1	11	30
9	衛生面での配慮	22	0	8	30
10	安全面での配慮	30	0	0	30
11	プライバシーの配慮	28	0	2	30
12	設備	28	1	1	30
13	おもちゃ、絵本	26	2	2	30
14	おたより、HP	30	0	0	30
15	掲示	29	1	0	30
16	保護者同士のつながり	25	4	1	30
17	地域との連携	20	0	10	30
*	住んでいる学区	室町15・新町5・紫明5・西陣2・京極2			
1	利用の目的	乳幼児の活動30			
2	きっかけ	ホームページ8・お便り7・知人12・児童委員1・ばたばん1・その他2			
3	利用頻度	週1回22名・週2回1名・週1～2回4名・週3回以上2名・月2～3回1名			



<分析と考察>

- 学童クラブのアンケートは、今年度も職員が読み上げながら丁寧に行ったので、回収率が97.7%（128名中125名）と大変高かった。保護者も63名と、昨年度より8名増えた。全家庭に答えていただけるように今後とも働きかけていきたい。
- 設問1「学童クラブは楽しいか」という問いに、児童の93.6%、保護者の90.5%が「はい」と答えておられる。昨年度より児童が約9.6%、保護者が約14.5%増えている。一番ありがたいことである。
多様な遊びを取り入れたり、児童の意見表明権を重視して主体的な活動（実行委員会による行事の企画・運営、児童の意見を反映して行うクラブ活動、当番活動や係活動等）を多く取り入れたりしてきたこと等が大きな原因と考える。しかし、1名の児童と3名の保護者が「いいえ」と答えておられるので、問題点をしっかりと把握して改善していきたい。
- 設問3、設問4の先生との関係について、約88%の児童がよいと答えている。さらに子ども理解を深め、子ども達の声なき声にも対応していきたい。職員の「対応」や「雰囲気」がよいと約97%の保護者が答えておられる。全職員で改善に取り組んできた成果が表れてきたと喜んでいる。今後とも保護者と共に子どもたちの健全育成に当たっていきたい。
- 設問8・9の「おやつ金額や内容」についても高評価であるが、チョコレートやマシュマロを家でも食べないという家庭もおられた。果物をはじめいろいろな種類のおやつを工夫して出していきたい。なお、わからないと答えておられる家庭が2割強おられた。おやつの感想も含め、「今日の学童はどうやった？」という会話をご家庭でもお願いしたい。
- 乳幼児クラブの設問16「保護者同士のつながりが生まれましたか」については評価が高かったが約13%の保護者が「いいえ」と答えられている。活動の中に絵本を読んでもら

う時間や、司会をしてもらう時間などを組み入れてより主体的に参画してもらい、保護者同士がもっと自由に本音で子育てについて語り合えるようにしていきたい。

- 3割強の方が「地域との連携がとれていないかわからない」と答えられているが、9月28日に行った「ゆめのこフェスタ 2024」には、上京区長をはじめ昨年度を上回る総勢481名もの参加があった。地域の方々に支えられ、地域と共に歩む児童館の姿が具現化できたと考えている。
- 親子が共に楽しんでいただける取組（伝統文化体験等）も継続したかったが、今年は2事業とも選に漏れた。その代わりに、今年度初めて京都市保健福祉局主催の「ほほえみ交流活動事業」に応募して通り、ゆめのこクラブの子ども達が聴覚に障害のある方に「手話」について教えていただくという貴重な体験をすることができた。そして、手話歌「切手のない贈り物」をゆめフェス 2024 で発表させていただいた。このような、京都市ならではの事業に来年度も継続して応募していきたい。

<今年も有難いご意見を頂いています！>

- ・小学1年の初めての夏休みにお友達とのトラブルから夏休み中に学童に行きたくないと言ったことがありました。とても心配しましたし、どうしてよいか困っていたところ、学童の先生方に親身にきめ細やかな対応を頂きました。おかげで今はとても楽しく通っています。
- ・いつも子ども達だけではなく、その家族も温かく見守っていただき、ありがとうございます。児童館の職員の方々に支えていただき、学校や家庭以外の居場所をつくらせていただき、子どもは安心して過ごすことができ、毎日感謝でいっぱいです。
- ・特に長期休みに子どもの「居場所」として欠かせない存在です。先生方は気さくで話しやすく、子どもも楽しく通って、学校とも家庭とも違う時間を楽しんでいるようで何よりです。いつもありがとうございます。
- ・「ゆめのこフェスタ 2024」も家族みんなで参加させてもらいましたが、娘のステキな世界を見せてもらいました。ステージのために一生懸命に練習する姿はとても楽しそうでした。優しい先生方、お友達に支えてもらえる我が子は幸せ者だと感じました。これからご迷惑をおかけするかもしれませんが、成長を一緒に見守って頂けたらと思います。

<館目標「い・い・ま・ち・むろまち」の実現に向けて>

今回頂いた貴重なご意見を大事に受け止め、今後とも利用者の皆さん方が、「**い**ってみよう ワクワクドキドキ」と思って気軽に訪れ、一人ひとりの「みんなの**い**場所」となるように取り組んでいきます。また、我々職員はいつでも「**ま**っているよ」といろんなアイデアを絞ってお待ちしています。そして、最終的には「**ち**いきのまんなか」になくてはならない**むろまち**児童館となることを目指していきます。

貴重なご意見ご感想を有難うございました。このアンケートだけでなく、運営について疑問に思われることやご意見があれば、いつでもお申し出ください。